

Catalyst 6800IA で偽の「%ILET-1-DEVICE_AUTHENTICATION_FAIL」出現とブートアップでのスタック スプリット問題

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[回避策](#)

概要

この資料はハードウェア関連の問題のように最初に見えるかもしれないが、機能したりソフトの欠陥によって引き起こされるインスタント アクセス クライアント/ファブリック エクステンダー (FEX) スイッチとして Catalyst 6800IA スイッチで見つけられる潜在的な問題を記述したものです。

問題

接続された Catalyst 6800IA クライアントを持つ Catalyst 6500/6880 コントローラで、これらのエラー/問題は観察することができます:

- 「POST: ACT2 認証: 端は、ステータス Power On Self Test (POST) の間にコンソールが 6800IA スイッチに直接接続されるときだけ」および/または目に見えるソフトリセット/リロードの後で 6800IA ブートアッププロセスで監視された "%ILET-1-DEVICE_AUTHENTICATION_FAIL:" メッセージ失敗しました。
- 「6800IA スイッチの show idprom コマンドを実行する場合の hulc_sfp_iic_intf_read_eeprom sfp_index 3 yeti_iic_read_retry 失敗」エラーメッセージ。
- 分割されるスタック (スタックはソフトリセット/リロードの間にきちんとケーブル接続されると同時に 2 つの独立したスタック) 起動します。

リセットされるこれらの問題は断続的に発生するかもしれないし、の後でソフト リロード/観察されます。同時に、これらの現象は Cisco Catalyst 6800IA スタックが/パワーサイクルが行われるハード リロードされるとき起こるべきではありません。

解決策

これらの問題は Cisco バグ ID [CSCus26920](#) によってトラッキングされ、これらのリリースに該当するソフトの欠陥と関連付けられます: 15.1(2)SY、15.1(2)SY1、15.1(2)SY2、15.1(2)SY3、15.1(2)SY4、15.1(2)SY4a、また 15.2(1)SY。

修正は利用可能な将来ソフトウェア リリース 15.1(2)SY5 および 15.2(1)SY1 です。

注: スイッチの電源コード電源遮断/プラグを抜くハードなブートがアップグレード前に問題に直面するスイッチに必要となるかもしれません。

回避策

回避策に関しては、ハード リロード/パワーサイクル Catalyst 6800IA スタックできます。